

---

## 優れた技術を持つものづくり企業との連携によって、世界市場に通用する医療機器を

---



植竹 強氏

(一社) 日本医療機器工業会 副理事長

植竹氏は長年経営者として医療機器業界に従事し、現在はその豊富な経験やノウハウを活かして(一社)医療機器工業会(以下、「日医工」と記載)の副理事長として医療機器産業全体の活性化に向けた各種活動を精力的に行っている。ここでは植竹氏の活動の一つ、東北地域のものづくり企業に対する医療機器産業新規参入の支援活動について紹介する。

※本原稿は、「九州地域医療機器関連産業支援フォーラム in ふくおか」における植竹氏の講演内容を元に三菱総合研究所が作成しました。

### 1. 東北地域のものづくり力を医療機器産業に活かす

日医工は2010年に東北6県の企業に対して、医療機器産業新規参入に向けた企業診断・分析・アドバイス等の支援を開始した。東北地域の「産業クラスター計画」に取り組んでいた株式会社インテリジェント・コスモス研究機構から依頼があった。

この実務に当たったのが、植竹氏である。実際に東北6県110社近くの企業を訪問した。訪問調査を通して、東北のものづくり企業が持つ高いレベルの技術力には驚いたという。しかしその一方で、「部品作りは一流であるが、製品全体の構造や用途を踏まえた上で部品に『機能』を持たせる発想が弱い」という弱点も見つかった。

日医工の会員企業は、東北のものづくり企業に対して単に仕事を発注するのではなく、商品開発まで一緒に関われるパートナーを探している。今、医療機器産業に求められているのは、優れた機能・要素部品メーカーの技術を使って世界市場に通用する医療機器を日本から送り出すことである。このような観点に立ち、植竹氏は東北のものづくり企業に対して医療機器産業への参入に向けたアドバイスを行っている。

本取組では、東北地域のものづくり企業と医療機器メーカーの出会いの場(ビジネスマッチング)を企画・実施している。その一つが、「メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ」への「医療用機能・要素部品パビリオン」の出展である。2011年から開始した本取組は徐々に規模を拡大している(図表参照)。2014年も、6月12日~14日に新潟県で開催を予定している<sup>1</sup>。

このような取組の効果もあり、現在では3年前に比べて東北地域において医療機器産業で活躍する企業数は約3倍の200社程度まで増加している。

---

<sup>1</sup> 開催予定については、医療機器学会のウェブサイト (<http://www.jsmi.gr.jp/connection/>) を参照。



図：メディカルイノベーションジャパン「医療用機能・要素部品パビリオン」の出展模様。  
 (2013年6月、パシフィコ横浜にて。東北地域のものづくり企業に加えて静岡県、新潟県の企業も出展。  
 ブースへの来場者数は延べ4,500名強であった。)  
 出所：「九州地域医療機器関連産業支援フォーラム in ふくおか」(2013/12) 植竹氏発表資料より

## 2. 医療機器産業の特性を十分に理解し、ひとつひとつ課題をクリアしていくこと

植竹氏は、長年にわたって医療機器業界の発展に寄与してきた。その経験を元に医療機器業界へ新規参入を考える企業に対して共通したいくつかのメッセージを発信している。その一つが、「医療機器開発は、医学の基礎から」というものである。少なくとも、基礎的な人体の構造や仕組みは理解していること。また、各診療科で使われている医療機器の種類くらいは知っておくこと、などである。これはコーディネーターにも同じことが言える。

その他にも講演会では、自社の体力（お金、人、技術力、設備 等）を勘案して目標を設定することや、薬事法に精通したアドバイザーを確保することなど、植竹氏の長年の経験に裏打ちされたポイントがいくつも紹介された。

医療機器業界への参入には様々なハードルが存在する。しかし、それらをひとつひとつ確実にクリアしていけば決して難しいことではないと、植竹氏は言う。日本の医療機器産業の発展に向け、ものづくり企業の支援に尽力する植竹氏の今後の更なる活躍を期待したい。

(2014年1月 掲載)

### ■植竹強氏 プロフィール

日本医療機器工業会副理事長として、医療機器産業界の多方面に亘り発展に貢献。長年の医療業界での経験と実績を元に東北6県を中心に、全国百数十社の企業実体を調査・診断し、優れた部品・技術をもつ企業の医療機器産業への参入に尽力。先般、薬事功労者として厚生労働大臣表彰を受けた。

■関連サイト

[一般社団法人 日本医療機器工業会 \(Website\)](#)

<http://www.jamdi.org/>

※本原稿は、「九州地域医療機器関連産業支援フォーラム in ふくおか」における植竹氏の講演内容を元に三菱総合研究所が作成しました。